



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

西中魂が燃えた田毎祭

9月30日(金)10月1日(土)に、『心の中に残り続ける思い出を～燃やせ西中魂～』のテーマの下、第52回田毎祭が行われました。体育館改築工事中の今年度は、千曲市教育委員会のご配慮で更埴文化会館を用意していただき、文化会館をメイン会場。西中をサブ会場としての分散開催となりました。生徒の移動をどうするか、展示公開のみの西中会場に保護者や地域の方が来てくださるか、リハーサルができない状況でどう準備を進めるか、あんずホールで開催できる良さを生かせないかなど、例年にはない課題と向かい合いながら開催にこぎつけました。

生徒会役員を中心に、知恵とアイデアを出し合って今年度の生徒会らしい、与えられた会場を生かした企画を考え、生徒たちの手で作り上げた2日間でした。「生徒が自ら自分たちの生活を創りあげることができる」西中生徒会の良さがいかんなく発揮されたように思います。

また、近藤PTA会長の「今年の状況だからこそ思い切ったことができる」との言葉から、地域の方に学校開放に来ていただけるためのPTAバザーの同時開催、あんずホールを使えることを生かした清水まなぶさんを講師に招いての人権講演会など、PTAも参加しての田毎祭となりました。

テレビCMでもおなじみの昔話のキャラクターが勢ぞろいしたオープニングで幕を開けた開祭式。多くの生徒が手を挙げて感想発表



キャラクター勢ぞろいの開会式

を求めた意見文発表会は6人の代表者それぞれに内容の充実した訴える力のある発表でした。英語スピーチは、ホールの大スクリーンを活用し、映像による補完を生かした伝わりやすいスピーチとなりました。



心をついに～体育祭～

体育祭では会場中に競技と応援の声が響き渡る熱気に包まれ、西中生のエネルギーのすごさを実感しました。競技結果で順位もつきましたが、すべてのクラスで自己新記録に歓喜したり、最後まで全力を尽くした仲間をたたえ合ったり、勝ち負けを越えたクラスの団結の力を実感する姿が見られました。競技記録も、例年にな

体育祭では会場中に競技と応援の声が響き渡る熱気に包まれ、西中生のエネルギーのすごさを実感しました。競技結果で順位もつきましたが、すべてのクラスで自己新記録に歓喜したり、最後まで全力を尽くした仲間をたたえ合ったり、勝ち負けを越えたクラスの団結の力を実感する姿が見られました。競技記録も、例年にな

1日目[9月30日(金)]

- I 開祭式
- II ステージ発表
 - 意見文発表
 - 「ふる里を大切にすること」 1年 唐木澤 侑里さん
 - 「命の大切さ」 1年 宮入 大治郎さん
 - 「将来について」 2年 岡田 大器さん
 - 「向き合う」 2年 高木 万生さん
 - 「自由とは何か」 3年 柳澤 峻太さん
 - 「大人になるために」 3年 松瀬 悠斗さん
 - 英語スピーチ



[Self introduction]

- 1年 宮本 祥吾さん
- 1年 次野原 愛花さん
- 1年 丸山 璃音さん
- [My Summer Vacation]
- 2年 松本 征修さん
- 2年 酒井 麻帆さん
- 2年 西村 優輝さん
- 2年 飯島 奈々帆さん



- [Our Scholl Trip]
- 3年2組 代表のみなさん
- [Kyoto and Nara Trip]
- 3年4組 代表のみなさん
- [The Culture of Thailand]
- 3年 春日 玲奈さん

○ 総合的な学習に時間の発表

- III 体育祭
- IV 人権講演会
 - 講師:清水まなぶ さん(ミュージシャン)
 - 演題:「今やる事が明日を変える！」

今日からスタート!!



自らの意見を堂々と



止まらない感想発表

いハイレベルなものになりました。部活動の成績もそうですが、体育館がない中でも、逆境を力に変えるこの1年の姿をここでも見ることができました。

2日目〔10月1日（土）〕	
V 吹奏楽部の発表	
VI 音楽会	
※ 合唱部の発表を含む	
VII 展示公開	PTAバザー
VIII 閉祭式	

コンクール形式の音楽会では、審査員として八幡小 安西先生、治田小 依田先生の両音楽専科の先生とともに、稲荷山にお住まいでコーラス等の指導をされている夏目比呂子さんに地域審査員となっ

ていただきました。選曲の段階から学級の願いが込められた合唱は、日々の練習の積み重ねの中で金賞を目指すという競い合いの目標を越えて、聴いてくださる方々の心に届く歌声へと昇華され、それぞれの学級の本番までのドラマを背景に、一人一人の生徒が大きな感動を得ることができたようです。審査員の先生方からは、願いをした記入欄をはみ出すほどの多くのアドバイスや感想を全学級に寄せていただき、「感動」の音楽会だったとの嬉しいお言葉をいただきました。あんずホールという舞台上、西中スタンダードに掲げる「歌」への取り組みの実りを実感する質の高い音楽会となりました。

西中魂を燃やし、集め、全校の思いを一つにして、2日間の田毎祭を無事に終えることができました。複数の会場を使用して、例年のない日程での実施には多くの不安もありましたが、大勢の保護者、地域の方々にご来場いただき西中生の学びと成長の姿を見ていただくことができました。また、校内を巡っての展示見学やPTAバザーにも、学校へ足を運んでいただきました。ご来校いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

お願い

◆田毎祭の撮影動画について◆

インターネットの普及により、「誰でも」「無料で」「手軽に」画像や動画を投稿できるようになりました。インターネットサービスが普及する一方で、児童生徒も含めて、利用上の問題が増えており、知らないうちに被害者となるだけでなく、加害者になってしまう可能性もあり、注意が必要です。学校行事の動画等の投稿については、肖像権、個人情報、合唱や吹奏楽演奏での演奏曲の著作権等に関わる問題の発生が考えられます。また、一度投稿された動画や画像は完全に削除することは大変難しく、問題が深刻化する恐れがあります。田毎祭を撮影された動画や画像については、ご家庭で楽しむものとしていただき、お取り扱いにご注意ください。

お礼

田毎祭と同時開催させていただきました「第31回PTAバザー」では、実行委員会の皆様と物品を提供くださった多くみなさま及び来場者のみなさまのおかげをもちまして、207,760円の収益を得ることができました。経費等を差し引かせていただいた上で、PTA特別会計に繰り入れ、生徒会、部活動、学校図書等の教育活動やPTA活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

(文責：教頭 畑)



まなぶんからの熱いメッセージ



このメンバーで最後の演奏



全校制作の披露
～閉祭式～



総文部制作のステージバックを背景に
～音楽会～



閉祭を告げる大平実行委員長と生徒会役員 ～閉祭式～